

2011年2月10日

サッポロホールディングス株式会社  
株式会社ポッカコーポレーション

## サッポロホールディングス(株)と(株)ポッカコーポレーションによる 経営統合に向けた協議開始について

～国内外の酒類・飲料・食品・外食分野で、競争力ある「食品価値創造グループ」構築を目指します～

サッポロホールディングス株式会社(以下「サッポロHD社」と)と株式会社ポッカコーポレーション(非上場、以下「ポッカ社」)は、本日、新たな競争力ある「食品価値創造グループ」構築を目指し、両社グループの統合・再編による経営統合に向けた協議を開始することに合意しました。

この第1ステップとして、本日付サッポロHD社の「株式会社ポッカコーポレーションの株式の取得(子会社化)」に関するお知らせにて公表しましたとおり、サッポロHD社が本年3月下旬にポッカ社の株式を追加取得することとしました。

今後、両社で国内外における酒類・飲料・食品・外食分野において競争力に富んだ新たな「食品価値創造グループ」の構築を目指して、両社グループの事業・組織体制の再編成について協議するとともに、再編後の新たな企業グループに相応しい持株会社の経営体制や社名などについて検討し、来年4月の新体制スタートに向けて協議してまいります。

サッポロHD社は、2016年をゴールとする新経営構想において、「食品価値創造事業」を事業ドメインの一つに掲げています。130年以上の歴史を積み重ねてきた酒類事業を中心としながら、更に幅広い「食」の分野に事業展開を拡大すべく、戦略的提携の実施や国際展開の推進等を成長へのグループ戦略に据えて企業活動を展開しています。国内においては、丸大食品株式会社と提携し安曇野食品工房株式会社に出資することでヨーグルト・デザート・チルド飲料の合併事業を開始した他、ポテトチップス市場への参入、協同乳業株式会社との資本業務提携などを推進し、また海外においては、メイル乳業株式会社(韓国)との業務提携による韓国ビール市場参入、ベトナムビール市場参入と東南アジア諸国への進出を睨んだ工場建設などを推進することで、持続的成長への布石を打ってきました。

ポッカ社は、さらなる企業価値の向上を目指して、2005年にMBOによる抜本的な経営改革に乗り出しました。以来、全社に亘る意識改革と収益体質の強化を図るとともに、高品質で強いブランド力を持つレモン、スープを核とした食品事業の大幅な伸張を図ってきました。また、ポッカ社は、飲料事業・外食事業で長い歴史を持ち、今後も経済発展が期待されるアジア市場においてより一層のプレゼンス向上を図ることを成長の柱と位置付け、経営資源の効果的な投入による基盤固めを行ってきました。さらに、経営の独自性を維持しながら事業シナジーを追求することができる戦略的パートナーとして、明治製菓株式会社(以下「明治製菓社」)、サッポロHD社と資本業務提携を結び、相互に協力を重ねながら様々なシナジー創出への取り組みに着手してきました。

サッポロ HD 社及びポッカ社は、2009 年 9 月に資本業務提携を締結以来、自動販売機事業の強化、商品の共同開発、営業・販売協力、生産体制の最適化、共同調達の実現、共同物流体制の構築等でのシナジー効果発揮による企業価値向上に取組み、主に国内において生産、共同調達、共同物流の面で一定の成果をあげてきました。また、海外では、ポッカブランドが広く浸透しているシンガポール市場において、ポッカシンガポール社がサッポロビール商品の取扱いを開始しました。

その間、国内の酒類・飲料・食品業界においては景気回復の遅れやデフレによる消費マインドの縮小、人口の減少及び少子高齢化によるマーケットの縮小などが進行し、業界各社は、お客様接点の拡大、自社の強みを活かした差別化推進や競争力向上、積極的な海外進出などにスピードを持って取組む必要性に直面しております。

提携後の協働を通じて相互の信頼関係がより強固なものとなる中、両社は、昨今の厳しい市場環境を乗り越えて今一層の存在感を発揮するためには、両社がそれぞれに独立して事業展開するよりも、現在の資本業務提携関係のステージをさらに上げ、両社が一体となった企業グループを構築して協働を加速させることが最善の方策であるとの判断に至りました。

よって、前述のとおり、本日、サッポロ HD 社とポッカ社は、新たな競争力ある「食品価値創造グループ」構築を目指し、両社グループの統合・再編による経営統合に向けた協議を開始することに合意し、その第1ステップとして、サッポロ HD 社が本年3月下旬にポッカ社の株式を追加取得することとしました。

両社は、本日以降、速やかに経営統合に向けた委員会を設置し、グループ内の事業・組織体制の再編成や、持株会社の経営体制・社名などについて協議してまいります。

なお、資本業務提携関係にある明治製菓社とポッカ社の資本関係は解消されますが、業務提携は今後も継続し、企業価値向上に向けて協働してまいります。

以上

<参考データ>

サッポロホールディングス社の概要

- (1) 商号 サッポロホールディングス株式会社
- (2) 代表者 代表取締役社長 村上隆男
- (3) 本店所在地 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番1号
- (4) 設立年月日 昭和24年9月
- (5) 主な事業内容 持株会社(国内酒類事業、国際酒類事業、飲料事業、外食事業、不動産事業)
- (6) 決算期 12月
- (7) 従業員数 3,983人(2010年12月31日現在 連結)
- (8) 資本金 53,886百万円
- (9) 発行済株式総数 393,971,493株(2010年12月31日現在)
- (10) 最近事業年度における連結業績の動向 (単位 百万円)

	2008年12月期	2009年12月期	2010年12月期
売上高	414,558	387,534	389,244
営業利益	14,685	12,895	15,403
経常利益	10,526	10,725	14,328
当期純利益	7,640	4,535	10,772
総資産	527,286	506,874	494,798
純資産	116,862	118,590	126,645

ポッカコーポレーション社の概要

- (1) 商号 株式会社ポッカコーポレーション
- (2) 代表者 代表取締役社長 堀 雅寿
- (3) 本店所在地 愛知県名古屋市中区栄四丁目2番29号
- (4) 設立年月日 昭和43年4月(創業 昭和32年2月)
- (5) 主な事業内容 飲料水及び食料品事業、外食事業、菓子事業、物流事業、その他の事業
- (6) 決算期 3月
- (7) 従業員数 2,473人(2010年3月31日現在 連結)
- (8) 資本金 2,377百万円
- (9) 発行済株式総数 9,487,000株(2010年3月31日現在)
- (10) 最近事業年度における連結業績の動向 (単位 百万円)

	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期
売上高	99,647	96,502	97,121
営業利益	3,903	1,782	1,805
経常利益	4,490	1,931	2,144
当期純利益	2,791	740	1,391
総資産	48,004	58,800	58,527
純資産	12,591	11,367	12,300

2011年3月期の連結業績の見込みは、売上高990億円、営業利益38億円、経常利益36億円、当期純利益32億円です。